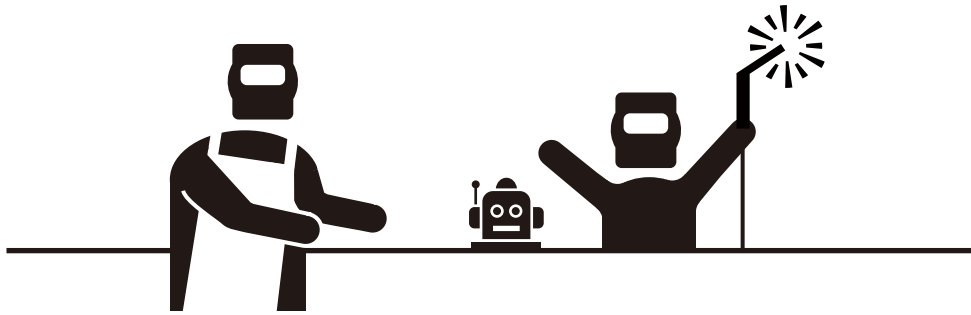


「DIY 応援部」 市民の主体的な創造活動をサポートする団体



事業内容

市民が主体的に創作活動を展開できるようにするためには、充実した専門機器とそれらの使用方法を説明する専門スタッフが必要です。「DIY 応援部」は、最新の工作機器の使い方をスタッフが事前にレクチャーし、市民の主体的な創作活動をサポートする組織です。また、「DIY 応援部」も積極的にものづくりイベントなどを開催することで、市民によるより高度なものづくりへの実践の機会を提供していきます。この取組では、創作活動を通じた世代間交流や市民同士のコミュニケーションの機会を創出することを目指します。

実施することで得られる効果・可能性

より高度な創作活動の実践機会を創出
創作活動を通じた世代間交流や市民同士のコミュニケーション機会の創出

実現する上での課題

専門機器の設備投資
専門スタッフの雇用

「手作り食堂 in 市民プラザ」 市民が気負いなく展開できる地域食堂



事業内容

市民が主体的に参画することのできる場は、ホールや練習室だけに限らず、施設の中にあるレストランやカフェでも可能です。「手作り食堂 in 市民プラザ」は、コミュニティ・レストランの仕組みを参考に、日替わりで食堂を運営していく取組です。日替わりで作り手が交代していく仕組みを採ることで、市民が気負いなく活動を展開できるようにし、例えば地域のお母さんたちが食堂のスタッフとなったり、小学生が放課後にボランティアスタッフとして配膳を手伝ったりします。この取組では、レストランやカフェが地域に根付き、食を通じた市民間のコミュニケーションの創出を目指します。

実施することで得られる効果・可能性

市民の社会参画の場を創出

食を通じた市民間コミュニケーションの展開

実現する上での課題

コミュニティ・レストランの実践を希望する市民の存在

「見習い親父バンドプロジェクト」 楽器演奏初心者地域でサポートし、働き世代のサードプレイスを創出する取組



事業内容

仕事や家事などで忙しい働き世代は、文化芸術活動へ参加する機会は少なく、働き世代が気軽に文化芸術活動へ参加できる工夫や仕組みが重要です。「見習い親父バンドプロジェクト」は、昔やっていたバンド活動を再開するのではなく、楽器演奏を始めるところからスタートするバンドプロジェクトです。講師は地元出身の若手ミュージシャンが行い、年に何度か発表の場を設けます。いつもは仕事で活躍しているお父さんがバンド演奏でカッコいい姿を娘にみせ、それを若い講師が見守るといったように、この取組では、世代間コミュニケーションと働き世代のサードプレイス創出を目標に活動を展開していきます。

実施することで得られる効果・可能性

働き世代のサードプレイス創出
世代間コミュニケーションの促進

実現する上での課題

楽器を始めたいと思っている働き世代の存在
若手ミュージシャンの雇用

「ボランティアコーディネーター協会」 市民の能力や適正に合わせたボランティア活動を引き合わせる組織



事業内容

限られた人材・予算で実施される施設運営にとって、市民ボランティアの存在は貴重であり、ボランティア活動への気軽な参加と参加意欲を高める仕組みや工夫が重要になります。「ボランティアコーディネーター協会」は、人材を募集する施設運営者とボランティアを希望する市民双方が win-win の関係を構築できるように、市民の能力や適性に合わせたボランティア活動を引き合わせる組織です。組織がボランティア活動の仲介をすることで、施設運営者にとっては自身の業務に専念できるためサービスの向上につながり、一方の市民にとっては自身の能力向上や文化芸術活動へのより一層の活躍ができます。

実施することで得られる効果・可能性

施設サービスの向上
市民ボランティアの意欲・向上

実現する上での課題

施設の希望とボランティア志願者を上手く引合わせることのできるスタッフの雇用

「共にアクション実行委員会」 施設と市民と一緒に要望・意見を実現していく取組



事業内容

施設の運営にとって、利用者である市民の要望や意見を真摯に聞き入れる姿勢は非常に重要です。その一方で市民も、要望や意見を単に述べるだけではなく、要望や意見を施設運営者と共に実現させていく姿勢が重要になります。「共にアクション実行委員会」は、施設についての要望・意見を募る市民参加型の会議を開催し、そこで出された要望・意見について、それを提示した市民と共に実現させていく取組です。施設運営者と市民が顔を合わせながら要望・意見を実現させるための方法や解決策を考え抜くことで、市民主体の施設づくりを目指します。

実施することで得られる効果・可能性

市民主体の施設づくりの実現

実現する上での課題

何をどこまで実現させていくかのルール・仕組みづくり
市民の要望・意見を柔軟に受け入れることのできる施設運営者

「進め！カルチャーバスクラブ」 バス・文化芸術活動をセットで考え企画する団体



事業内容

「進め！カルチャーバスクラブ」は、旅行会社のパックツアーのように丸一日文化芸術を堪能できるツアーイベントや、市内の文化施設をバスで巡る乗車券と文化芸術のチケットをセットにしたプランを企画する団体です。

交通移動手段と文化芸術活動を組み合わせた企画を実施することで、交通手段の心配をすることなくお得に文化芸術を楽しむことができますと共に、市内全域での文化芸術活動を楽しむことができます。

実施することで得られる効果・可能性

市内全域での文化芸術活動の展開
滞在地へのアクセシビリティの担保

実現する上での課題

文化芸術活動を対象としたツアーイベントのニーズの把握
バス会社などとの連携

「苫小牧の味を守る会」 地域に根差したソウルフードを楽しみながら伝える市民団体



事業内容

歴史上又は芸術上価値の高い演劇や音楽、工芸芸術など文化的所産のことを無形文化財といいますが、祖父母から伝えられる郷土料理や長年地元
に愛される定食屋の料理、地域に根差した名物 B 級グルメといったその地域特有のソウルフードも継承すべき無形文化の一つといえます。

「苫小牧の味を守る会」は、苫小牧に伝わる各種のソウルフードを市民みんなで調理し、楽しみながら伝えていく市民団体です。活動は料理の取材
から始まり、料理教室型の小さなイベントから大きなフェスティバルまで、大小様々な規模で展開していきます。

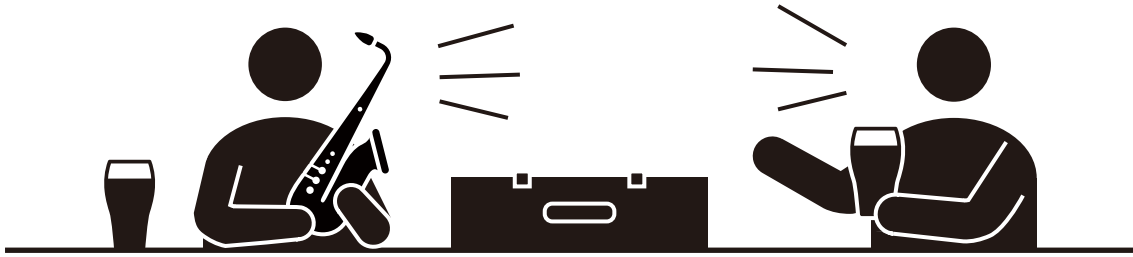
実施することで得られる効果・可能性

生活に密着した文化芸術活動の展開
文化芸術活動への興味・関心の喚起

実現する上での課題

持続的な活動・イベント開催を企画する実施者の存在

「寄合いバル^注 実行委員会」 小さなグループ活動を誘発するイベント企画や運営支援



事業内容

市内には有志による音楽サークルや趣味の活動グループが多数あります。規模は決して大きくありませんが、隣の学校の同級生とチームメイトになったり、憧れの先輩とセッションができたりと、小さなグループの中にも、普段所属している学校や会社、年齢などの垣根を越え、地域に根差したつながりが生まれています。このような小さな市民活動の萌芽や持続的な活動を支えるのが「寄合いバル実行委員会」です。例えば、元吹奏楽部バルと題して、これまで眠っていた楽器を持ち寄り、当時の部活の話や簡単な練習で盛り上がる会を開催するなど、知合いが身近にいなくとも、小さなグループ活動に関わるきっかけを提供します。また、有志による活動を持続するアドバイスなども行います。

注) バル：スペインの日常的な社交の場であり、喫茶店・軽食堂・居酒屋を兼ねたような店のこと

実施することで得られる効果・可能性

市民が無理なく地域に関わる導入の機会づくり

実現する上での課題

イベントへの協力や広報の体制づくり
アドバイザーの確保